



H

ostelling

Magazine

巻頭インタビュー

有村架純

「また、ここに来たい」

そう思える場所があれば、
前を向いて進んでいける。

Hostelling Magazine × 地球の歩き方 www.arukikata.co.jp

秋のフィンランド&カナダで
ダブルオーロラを観る！

◎トリップアドバイザー

ラップランドのナイトツアー

Youth Hostel Pick up

満天の星空につつまれた
癒やしの非日常空間

ユースゲストハウス ATOMA

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





www.yamazakipan.co.jp



ランチパック

LUNCH PACK



公式webサイト

ランチパック 検索

ランチパック
情報をチェック!

公式Facebookページ

www.facebook.com/lunchpack.jp

Digital HI Membership

ユースホステル デジタルメンバーシップ



世界中のユースホステルで使える！

世界80の国と地域にあるおよそ3600ヶ所のユースホステルをリーズナブルなメンバー価格で利用できます！



PC または スマホ で登録！

登録は簡単3ステップ！クレジットカードまたは Paypal の決済後すぐに会員証がメールで届きます！
Apple Wallet / Android にも対応しています。



旅だけじゃない！ Digital Member だけの特典も！

世界各国のユースホステルが提携している博物館や鉄道などの会員割引提携サービスはもちろん、日本国内の一部のユースホステルでは Digital Member だけが受けられる特典をご用意しています。

スマホで旅する？
スマホと旅する？



登録はカンタン 3ステップ！

NO.1

1

QRコードまたは日本ユースホステル協会 HP から登録ページへ

STEP.2

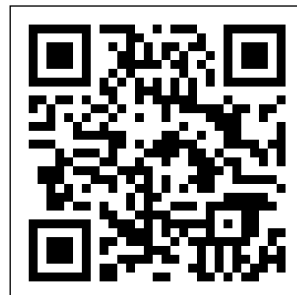
2

必要項目を入力して規定を確認。
クレジットカードまたは Paypal でお支払い

NUMBER.3

3

世界中で使えるユースホステル会員証 (PDF) がメールで届いて登録完了！



adt/hm14d



※画面はハメ込み合成です。



Vision

Principle and Philosophy

Inclusivity

世界を超えて

Learning and Understanding

考えよう

Sustainability

僕らと子ども達の未来のことを

日本ユースホステル協会はユースホステルのビジョンに基づき、日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

※本紙の情報は2018年9月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。
 発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会
 編集・発行人 寺島 真
 TEL (03) 5738-0546
 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
 国立オリンピック記念青少年総合センター内
 ※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。
 制作・印刷製本/サンメッセ株式会社

Line up

インタビュー P02
 女優/有村架純
 「また、ここに来たい」
 そう思える場所があれば、
 前を向いて進んでいける。

Youth Hostel Pick up P08
 ～煌めきの宝箱、ふくしま～
 満天の星空につつまれた癒やしの非日常空間
 ユースゲストハウス ATOMA

ユースホステル Special Program
 in 文化放送「レコメン！」 P12

Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P14
 秋のフィンランド&カナダで
 ダブルオーロラを観る!
 ■ Aurora Destinations 01 Finland
 ■ Aurora Destinations 02 Canada

トリップアドバイザー P20
 耳寄り! 観光NAVI
 ラップランドのナイトツアー

教えて! 旅GIRL P22

松島むうの晴れときどき旅びより P23

巻頭インタビュー

「また、ここに来たい」

そう思える場所があれば、
前を向いて進んでいける。

女優

有村架純

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」を
きっかけにブレイクし、
その後も数々の映画・ドラマに出演。
さらに、2017年には
NHK連続テレビ小説「ひよっこ」で主演を務め、
日本中の老若男女から愛される女優の一人として
大活躍中の女優といえば……そう、有村架純さんです。
今や不動の人気を誇り、9月21日から
主演映画「コーヒーが冷めないうちに」が公開中の
有村さんですが、実は20歳の頃、
女優としての自身のスタンスに悩んでいたそう。
しかし、「ある国での体験がきっかけで、
前向きな気持ちになることができました」
と、有村さんは当時を振り返ります。
当時のエピソードから現在のお仕事について、
さらにはプライベートでの旅のお話まで、
たっぷりとお話いただきました。

-20°Cの極寒の地で観た絶景が、 自分を変えた。

—プライベートで最近一人旅をされたと伺いました。どちらに行かれたんですか？

2017年の秋にノルウェー・フィンランドに行ってきました。実は、ノルウェーには2013年に一度お仕事で行かせていただいたことがあったんですけど、その時に見た景色や出会った人達が本当に素敵で、「また行きたい」とずっと思っていたんです。2年前にも一回チャンスがあったんですけど、帰国予定日の翌日に“本読み”が入ってしまって……。本読みといっても本気で取り組んでこられる役者さんもいる中で、「ここで私が楽しんでいるわけにはいかない!」と、その時は旅行を諦めました。なので昨年の旅は4年越しでようやく実現した旅だったんです!

—そうなんですね! お仕事でノルウェーに行かれた時はどんなことをしましたか？

初めてノルウェーに行ったのは、2013年の年末から2014年の頭ごろ、20歳の時でした。ノルウェーの滞在日数は5日間で、そのうち2日間がオーロラを観るための日……というスケジュールでした。その時はトロムソというオーロラ観測が盛んな所にいる“オーロラハンター”の方におすすめの観測スポットを紹介していただいて、外の気温は-20°Cくらいで、もう、「寒い」という感覚すら麻痺するような寒さで……。そんな状況の中で30~40分くらいじっと待ち続けていたら、突如オーロラが現れたんです!

—すごい! 生で観るオーロラってどんなものなんでしょう？

赤っぽい光で、踊っているみたいに動いていました! 私が観たオーロラは写真で見ると鮮明さはなかったんですけど、色や形、動きははっきりと分かりましたよ。「20歳」という自分の中でとても大事な1年に、最高の年越しの旅になりました。実はその頃、お仕事のことですごく悩んでいて、何をやっても上手くいかなくて心が折れていた時期が続いていました。そういう自分へのもどかしさとか、悔しさを抱えたまま、ノルウェーに行ったんですけど、オーロラや素敵な景色を観ることができて、「なんて恵まれているんだろう!」って思えたんです。自分の中で価値観や考え方が大きく変わるきっかけになったというか。だからこそ、「また、絶対に来たい!」という気持ちを持ち続けていたのだと思います。

ちょっとしたトラブルも 一人旅の醍醐味!

—「また来たい」と思える場所があるって素敵ですね。プライベートでの二度目の北欧旅はどのように過ごされたのでしょうか？

初めて北欧に行った時は、フィンランドはヘルシンキに乗り継ぎで少ししか滞在できなかったんで、「次に行く時はフィンランドに寄ってからノルウェーに行こう!」と決めていました。ノルウェーでは関西の地元の友達と合流予定だったので、日本からフィンランドまでの道中や、フィンランドの街中の散策はずっと一人で過ごしていました。

—言葉の通じない国で、数日間一人で過ごすことに不安はなかったですか？

「分からないことがあったら誰かに聞けばいいや!」という感覚だったので、不安は全くなかったのですが……路面電車に乗って郊外へ行って、あちこちを色々散策して回っていたら、帰りに自分がどこの駅から来たのか分からなくなってしまったんです(笑)。「ヘルシンキ中央駅」から乗ったことは覚えていたので、現地の方に英語で「センターターミナルに戻るにはどうすれば良いですか?」というニュアンスの質問をしたら、フィンランド語の駅名を教えられて、相手の方が何を言っているのか全く分からず「えっ?えっ?」と焦ってしまいました……。

—フィンランド語は言葉も分からないし、文字も読めないので大変そうですね(笑)。



kasumi_arimura.official

4年ぶりのフィンランド🇫🇮一人旅です。北欧です。やっぱり好きです📍朝日が照らすヘルシンキ大聖堂

〈有村架純さん公式Instagramより〉

実は初めての一人旅でもあったので(笑)。でもなんとか目的地にたどり着けました(笑)。

— 不思議となんとかなるものなんですよ、海外旅行って(笑)。旅先で楽しみにしていることや、旅を楽しむために意識していることはありますか？

現地の雑貨屋さん巡りは欠かせないです！ノルウェーに行った時も、食器をたくさん買いました。その国のご当地お菓子を食べるのも好きですね。あとは、カフェ巡り。おいしいコーヒーを探すのも楽しみのひとつです。そういえば、フィンランドにすごくおいしいコーヒーショップがありました。ヘルシンキからちょっと電車で行った場所なんですけど、クロワッサンもめちゃくちゃおいしくて！

— いいですねー！そのお店は有村さんがご自身で探されたのですか？

そうですね。旅の前に日本でどこに行こうか探している時に「ここに行きたいな」と思っていたお店でした。他にも、小さな島が丸ごとムーミンの世界観で作られている「ムーミンワールド」にも行きたいと思っていたんですけど、私の行った冬の時期は数日しか開園してなくて行けなかったんです……だから、もしもまたフィンランドに行くなら、次は夏に行ってみたいです！

同じ景色を見ても、 時間が経てば感じ方が変わる。

— お友達とノルウェーで合流されてからは、どんな場所に行きましたか？



kasumi_arimura.official

世界遺産のフィヨルドは生で是非👁️👁️👁️色々感慨深いです、すごくすごく良い時間でしたよ。自己満足の旅！

〈有村架純さん公式Instagramより〉

オスロとベルゲンを散策しました。前回行かなかった場所にも行きましたが、メインは4年前と同じ場所。4年前に巡った場所を同じように巡って、同じ景色を観ました。「あの頃はこういふことで悩んでいたなあ」とか、「でも、今こうやって楽しくお仕事できていて良かったなあ」とか、色々と思いを馳せたりしながら……。昔と今とを比べて、「4年って大きいんだなあ」としみじみ感じました。

— それだけ4年間でさまざまな経験をされてたんですね。北欧以外の国も行かれたことはありますか？

はい。お仕事でしたけどカナダに行きました！その時はオーロラを観に行くというものではなかったのですが、モントリオール、ケベック、ナイアガラを10日間で。「赤毛のアン」の舞台になったプリンス・エドワード島でクランベリー収穫を手伝ったり、メープルの森でメープルシロップを作ったり、現地の人との触れ合いが楽しかったですね。

— 次にまとまったお休みができたなら今度はどこに行きたいですか？

スウェーデンです！

— 即答ですね！そして、また寒そうな国(笑)。

私、寒いところが好きなんです(笑)。ノルウェーに行った時に、現地先住民のサーメ人の人たちと極寒の中、延々とソリに乗った経験もあります(笑)。その時は三角のテントのようなところにもおじゃましたんですけど、独特の獣とも違うなんともいえない匂いがして、それがすごい印象に残ってるんです。うまく説明できないんですけど(笑)。写真とか映像では伝わらない、温度とか匂いとか、旅ならではの経験って思い出に残りますよね！北欧は、二度行って改めて感じる魅力もたくさんあったので……。気候も良いし、自然が豊かで、建物も可愛くて、さらにその土地で暮らしている方々の人柄もすごく良い。ノルウェーは「お母さんに優しい国」と言われる国で、人もすごく寛大で余裕のある方が多いな、という印象でした。アイスランドにも行ってみたいし、北欧以外だと、スイスも行ってみたいですね！現地で「ハイジの白パン」が食べたいです！あと、チーズとワインと……。

— 最高です！

もしも、 過去に戻ることができるなら……。

—今回、一足お先に有村さん主演の映画「コーヒーが冷めないうちに」を拝見させていただきました！本当に素晴らしい作品で、何度か涙が止まらなくなるシーンが……。有村さんは台本を最初に読んだ時、主人公の時田数^{ときたかず}役をどんな風に演じたいと感じましたか？

私が演じた数は、簡単に言うと「喫茶店で働く店員さん」という役どころだったので、まずはこの映画の主な舞台である喫茶店「フニクリフニクラ」をどんな喫茶店にしようかな、と想像することからスタートしました。この喫茶店には常連さんが通っていたり、噂を聞きつけて新しいお客さんが来てくれるのですが、来てくれるのには何らかの理由があるんだろうな、と。その理由というのは、きっと「温かさ」や「包容力」を、主人公の数や喫茶店の店長であり数の従兄でもある流^{ながれ}さんが持っているからだと感じて、演じる際に意識しました。その一方で、数は過去のある出来事がきっかけで、「自分が幸せになること」をためらい、周囲の人と一定の距離感を保っています。包み込むような優しさの中に、人に打ち明けられない苦しみを抱える女性……という役柄は、バランスの取り方が難しかったですね。

—「コーヒーが冷めないうちに」は、「ある喫茶店内の“ある席”に座ると、望んだ通りの時間に戻ることができる」という設定が物語の重要な鍵を握っています。有村さんは、もしも過去に戻ることができたとしたらどうしますか？

高校生に戻りたいです！

—「高校何年生のあの頃に戻りたい」という具体的な時期はありますか？

高校3年生の1年間ですね。高校2年生の終わりに上京して、高校最後の1年間を友達と過ごせなかったのが……「最後の体育祭」とか、「最後の文化祭」とか、そういう楽しみがきっとあったんだろうなと思うと、「もうちょっと青春を謳歌しておけばよかった……」って思っています(笑)。

—上京された時はお一人で？

はい、事務所の方を頼りに一人で上京しました。心細くなったり、地元に戻りたいという思いにかられることはそんなにはなかったものの、お芝居の難しさを痛感して心が折れることは何度もありました……。

女優のお仕事を本格的に始めたのは上京後だったのですが、はじめの1～2年くらいは自分の演技が「芯を食っていない」という気持ちはずっとありました。お芝居は楽しいけれど、自分がちゃんと役を掴んでいるような掴めていないよう



Profile

有村架純

1993年2月13日生まれ、兵庫県出身。

2010年に女優デビュー。NHK連続テレビ小説「あまちゃん」(13)で人気を獲得、『映画 ビリギャル』(15/土井裕泰監督)で、第58回ブルーリボン賞主演女優賞、第39回日本アカデミー賞優秀主演女優賞、新人俳優賞をダブル受賞。その後も数々の映画・ドラマで活躍。昨年はNHK連続テレビ小説「ひよっこ」の主演を務め、国民的女優としての地位を不動のものにする。

主な映画出演作は『阪急電車 片道15分の奇跡』(11/三宅喜重監督)、『女子ーズ』(14/福田雄一監督)、『思い出のマーニー』(14/米林宏昌監督)、『ストロボ・エッジ』(15/廣木隆一監督)、『僕だけがいない街』(16/平川雄一朗監督)、『アイアムアヒーロー』(16/佐藤信介監督)、『夏美のホタル』(16/廣木隆一監督)、『何者』(16/三浦大輔監督)、『関ヶ原』(17/原田真人監督)、『ナラタージュ』(17/行定勲監督)など。今後も『かぞくいろ -RAILWAYS わたしたちの出発-』(18/吉田康弘監督)、『フォルトウナの瞳』(19/三木孝浩監督)と出演作の公開が続く、いま最も輝いている女優。

な、存在感があるようなないような……という感覚だったんです。

対照的な人物を演じる、 という難しさ。

—そこから抜け出すことができたターニングポイントは何だったのでしょうか？

その時期に、ちょうど「あまちゃん」のオーディションがあったんです。そのオーディションがすごく楽しくて、「春子(※主人公・アキの母親。有村さんが演じたのは若き日の春子)」という役を与えていただいたのですが、春子を演じることで、「役を“演じる”のではなく、役を“生きる”というのはこういうことなのかもしれない」と感じられるようになって。お仕事への向き合い方が変わっていったのは、この頃からですね。

—なるほど、その役と一緒に過ごす時間も向き合う時間も長い分、一緒に生きているような感覚が身についていったんですね。当時演じた春子と、今回の「コーヒーが冷めないうちに」の数ちゃん役とは全く違うキャラクターを演じ分けていらっしゃると思いますが、やはり今回の役どころに難しさはありましたか？

ありました!「受け身」を演じるって、やっぱり難しいです……。数は相手の話の聞き役に回っているシーンも多いのですが、実はセリフのないシーンを演じるのが一番難しく……。 「間」の中にも感情を入れないといけないし、ましてや数は自分の気持ちを発散させる人ではないので、感情の起伏を大げさに表現できない分、繊細に紡いでいかなければならない。その部分にはとても力を使いました。



Stylist: 瀬川結美子 (NOMA Co.,Ltd)
Hair make: 倉田明美
Photographer: 小林潤次 (七彩工房)

〈衣装協力〉
ブラウス・スカート: ayâme/Klfune Showroom
(hide0516@i.softbank.jp)
ブレスレット: ザボーイスカウト/
ロードス (tel.03-6416-1995)
ブーツ: アルベルト フェルマーニ/
ザブティック ヒットマンルミネ有楽町
(tel.03-6268-0957)
イヤリング: スタイリスト私物

登場人物たちの “変化”を楽しんでほしい

—「コーヒーが冷めないうちに」は色々な家族の話が繋がって
いく映画で、観る人はそれぞれの立場で感情移入できる映
画ですよ。

そうですね。私は「親子愛」や「家族愛」にまつわるエピソード
が一番共感できました。でも、この映画に登場するあるご
夫婦のお芝居が本当に素敵で、夫婦の形がまだわからない
からこそグッときた部分もありました。「こういう夫婦であり
たいな」と感じましたね。

— 今回の作品の中で特に印象に残っているシーンを教えてく
ださい！

まず、冒頭のシーンは印象に残っています。その後進んでいく物
語の中で重要な役割を担う登場人物達がみんな喫茶店の中に
いて、和気あいあいとした会話から始まるのですが、テンポ感がと
ても良く、すごく楽しい雰囲気が始まるんです。最初の数分で、
この作品の空気感が観客のみなさんにもなんとなくわかってもら
えると思いますし、私自身も演じていてとても楽しかったです。
それと、シーンというよりは物語全体を通した話なのですが、
物語が進むにつれて数がどんどん救われていく様子は、演じ
ている時も、完成した作品を観ている時も嬉しかったですね。
「フニクリフニクラ」にやってきたお客さんを過去に戻す力
を持った数が、過去から戻ってきた人達の表情を見て勇気をも
らい、少しずつ自分の役割に誇りを持っていく姿。そして、「私
は幸せになってもいいんだ」と気づかせてくれる人との出会い
や、その人からかけられる言葉で、数が心を開いていく姿。そ
んな“変化”を、みなさんにも観ていただきたいです。

コーヒーが 冷めないうちに

9月21日(金)より全国東宝系にて公開

出演:有村架純 伊藤健太郎 波瑠 林遣都 深水元基 松本若菜
業師丸ひろ子/吉田羊 松重豊 石田ゆり子
原作:川口俊和「コーヒーが冷めないうちに」
「この嘘がばれないうちに」(サンマーク出版 刊)
監督:塚原あゆ子「アンナチュラル」「Nのために」
脚本:奥寺佐渡子「サマーウォーズ」「おおかみこどもの雨と雷」
音楽:横山克 主題歌:YUKI「トロイメライ」(EPICレコードジャパン)
©2018「コーヒーが冷めないうちに」製作委員会
<http://coffee-movie.jp/>



この秋、温かな感動が、
日本中を優しく
包みこみます。

あなたの戻りたい過去はいつですか——?
本屋大賞ノミネート
“4回泣ける”と話題のベストセラー小説が
超豪華キャスト&スタッフでついに映画化!

STORY

2015年の発売以降「とにかく泣ける!」と口コミ
で広がり、17年には本屋大賞にもノミネートされた小
説「コーヒーが冷めないうちに」。舞台の脚本家兼、演出家
として活躍する川口俊和の小説デビュー作となる本作が、シ
リーズ続編の「この嘘がばれないうちに」とともについに映画
化! 舞台は、とある街のとある喫茶店。店内の【ある席】に座
ると、望んだとおりの時間に戻ることが出来るという。ただし、そこ
には『過去に戻って、どんな事をして、現実是不変変わらない。』や
『過去に戻れるのは、コーヒーをカップに注いでから、その
コーヒーが冷めてしまうまでの間だけ。』などのいくつかの
ルールがあった。誰もが一度は経験のある「もしも、あ
の時に戻ることができたら……」という「後悔」
の思い。様々な「後悔」を抱えた客たち
が、今日も店を訪れる。

小説『コーヒーが冷めないうちに』(サンマーク出版刊)
+
映画『コーヒーが冷めないうちに』
プレスシート(非売品)

セット

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの
専用お申込みフォームから!
<http://www.jyh.or.jp/hm/>

■ 応募締切 2018年11月末日

※なお、当選発表は、商品の発送を以てかえさせていただきます。

抽選で

3名様に
プレゼント!





つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.14
まとめてダウンロード



Hostelling Magazine × 地球の歩き方.. P14
秋のフィンランド&カナダで
ダブルオーロラを観る!
■Aurora Destinations 01 Finland
■Aurora Destinations 02 Canada



インタビュー P02
女優/有村架純
「また、ここに来たい」
そう思える場所があれば、
前を向いて進んでいける。



トリップアドバイザー P20
耳寄り! 観光NAVI
ラップランドのナイトツアー



Youth Hostel Pick up P08
～煌めきの宝箱、ふくしま～
満天の星空につつまれた癒やしの非日常空間
ユースゲストハウス ATOMA



教えて! 旅GIRL P22



ユースホステル Special Program P12
in 文化放送「レコメン!」



松島むうの晴れときどき旅びより P23